受	付	印】					支 給 支 払 決 議 書											
									常彩	好理事	事務:	長	係				不支給の	の場合
																	1	
			支約	合決定日	年		月	日										,
			士公外	定額(法定)				円	;	次妆品。	1年11				 	——— 月		п
			义和伏	上領(広止) ————————————————————————————————————	<u> </u>			门	資格取得年月日		一一月 口		年		+			日
			支給決	定額(付加)	F			円	資格喪失年月日				4	丰	月		日	
			被保险家	療養費支給申					請書(あんま・マッサージ用)									
			被保険者		1 - 12345				п	h	健保 太郎							
		被保険者の	記号都		1	— 12345 ————			氏名					—————————————————————————————————————				
被			住所	大阪市西	阿区京町	京町堀1-3-17			生年月日			平成		51 年		12 月 13		日
192	初	皮扶養者にかかる	氏						生年月日		昭和•平成				-			
保		請の時はその者の	家族の場合記入						生生	月日	今和 年					月		日
険		傷病名		月	凶梗塞				発病または 負傷の年月日 令和]	26	年		2 月	2	日	
者		発病または 負傷の原因	(原因については各自が思い当たることをご記入ください) 1874年宝で士平良が白山に動かなくなった										治医から、マッサージを勧められ治療を始め 「半身が思うように動かず通院中					
2.8			脳梗塞で右半身が自由に動かなくなった 通事故・喧嘩等)による傷病ですか はい・・						いいえ									
が			<u> </u>	₹ 4 / (C2 2)		○×鍼灸院					/# 14	100.13 7	***			x)·\d	75.4	
記		施術を受けた 施術院の		7					所在地			市中央	可中央区備		10-C)-(
入		施術日	施術者名			山田 華						11 10		1.0	1.4	1.5		
八	(通院した日に○、 往療は◎)	対象月 月	$\frac{1}{16}$ $\frac{2}{17}$		19	5 20	6 21	7 22	(23)	9	10 25	11 26	12 27	13 28	14 29	30	31
す	施征	術に要した(立替		00,0		円也												
る	払い	いした)費用の額									条付して下							
	受取		私	は本申請に基	基づく給付	金の受	を領につ	いて事	事業所作	代理人に				左	c	п	7	п
	1 .	①在籍中の方は、 会社へ委任して下さ	:V\	Pick Pick										7	日			
ſĭ	$\widehat{}$			DX DN DX - 1	724	Æ	VN	XXXI	,									
	①②いずれ					Í	银行					木庄,	•出張所	ŕ				
ろ		11 金 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1											党業部		普	通 •	当座	
	か 記	・ 任継者は記入不要。登								占人	, L - Ç	. <7	53)	
	入								座名義									
		初療年月	日				施(ボ 期	間					施術	日数		請求区分	分
		年	月 日		年	月	日	\sim		年	月	日				日新	規・	継続
	-															転帰		
		傷病名および症										継続・注			冶癒・中止・転医			
		マッサージ		躯幹			円×			□ =	=		円 摘卵	要				
施	- 1-}			右上肢			円×				=		円					ш
術師	施術			左上肢		円× 円×			回 =				円					ш
	内			右下肢 左下肢			円×					<u>円</u> 円						ш
	容欄	変形徒手矯正術	/ +	_	<u>円</u>		_ 		在市		= 7 .			5 i	_		L , ,	ш
が	LIMA	温罨法	いま	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	7		-					21	《 本	見し	, (さい	
記		温罨法・電気光線	泉器具			Р	9×		口	=		F	円					ш
入		往療料 4Kmま	で			円×			口	=		F	円					ш
		(加算		Km)	円×				口	=			円					ш
す							円					\dashv						
る	ı	地州口 - 地所○1 1 2 3 4 5	±源◎ 6 7 8	9 10 11	1 12 1	3 14	15 1	6 17	18	19 20) 21 22	2 23	24 2	25 2	6 27	28 2	29 30	31
と																\dashv		
	施徙																	
	術 証	証明日 年 月 日 住 所																
ろ	明									電話番号								
	欄	あんま						 										
ŀ	同	同意医師氏名	<u>, </u>	 住 所						司意年	月日	日傷病名				要加療期間		
	意	<u> </u>							. 7,0, 1 / 4 -			ĺ						
	意記録																	
	稣								+-									

- 1. 「医師の同意書(原本)」を添付して下さい。また、6ヶ月を超えて引き続き施術を続ける場合(変形徒手矯正術は1ヵ月)は、 再度医師の診察を受け同意書の交付を受ける必要があります。
- 2. 「適用」欄には往療を必要とした理由、施術に関する特記事項等を記入して下さい。

備考欄

被保険者証の記号番号に代えてマイナンバーにより申請する場合は、備考欄へ記載して下さい。 (マイナンバーを記載した場合は、個人番号確認、本人確認をするための添付書類が必要です。)

【申請上の注意】

- 1. 標題の「被保険者」「家族」は、いずれか該当する文字を丸で囲んでください。
- 2.申請書は歴月(1日~月末日)ごと1枚記入の上、「領収書(原本)」を添付して提出して下さい。
- 3. 初療及び6か月超えて引き続き施術を受ける場合は、再度医師の診療と同意書の原本が必要です。
- 4. 医療機関を受診中の場合は保険の適用外となります。
- 5.通勤途上災害、業務上災害の場合は労災保険からの給付があるため健康保険の給付対象とはなりません。
- 6. 鉛筆書き、記入漏れ、添付書類不備は受付けられません。
- 7. 請求権は事実のあった日の翌日から起算して2年で時効となります。